

京大総合博物館～法然院の森 自然観察

活動報告 担当 3班

am 膨大な資料を収蔵展示する京大総合博物館を見学後、学食で昼食。

pm 法然院の森で環境学習活動を行なっている市民グループの案内で、自然観察。



京大総合博物館



哲学の道の猿



法然院山門



法然院の森から洛東を望む

【実施日】 2020年2月7日(金) 晴れ

【集合】 京阪出町柳駅 9:40 【参加者】 78名

【行程】 出町柳駅 9:45 → 京大総合博物館(見学) 10:00～10:50 → 学食(昼食) 11:00～11:45

→ 法然院(集合写真、森の紹介) 12:15～13:30 → 法然院の森(自然観察) 13:45～15:10

→ 法然院森のセンター(解散) 15:30

京大総合博物館

学術標本資料約 260 万点を収蔵し、「自然史」「文化史」「技術史」の展示スペースを備えた日本最大級の大学博物館を見学しました。

法然院の森

法然上人の草庵に源を発する法然院。今回、お寺の森をフィールドに、森の手入れなど環境学習活動を行なっている市民グループの代表に「観察の森」を案内していただきました。



森の紹介



ムササビの巣とその断面



観察の森



活動及び森の

key word

鹿の増加(ブッシュを人力で整備したが、今では鹿が食べてしまう)、ひこばえ切り、地掻き、腐朽菌、送り火(マツ)
フィールドサイン(ムササビの食べた跡)
東山隆起(鹿ヶ谷断層)、京大構内・吉田山(花折断層)
ホルンフェルス、白川扇状地
如意越え(大文字山～三井寺)

観察できた樹木

スダジイ、タマミズキ、コナラ、タラヨウ、クスノキ、ヒノキ、ヤブツバキ、オガタマノキ、ヤマザクラ
カスミザクラ、カナメモチ、アカシデ、ウワミズザクラ、ソヨゴ、クロバイ、アカマツ

1985年、お寺と市民の二人三脚で「法然院森の教室」を開始以降の歩みを聴いた後、森をガイドしていただいて、しっかり活動されていることがよくわかりました。

「森は、教室」 「豊かな森を未来へ」